

経営理念	学校教育目標…力いっぱいがんばる子の育成 めざす児童像…進んで学ぶ子 仲よく助け合う子 元気でたくましい子 めざす教職員像…子どもを大切に育てる教職員 学び続ける教職員 協働する教職員
------	--

【評価基準】4…十分達成できた、3…ほぼ達成できた、2…あまり達成できなかった、1…全く達成できなかった

経営目標	重点努力目標	班	担当	具体的な取組	評価項目	項目別評価	達成状況	改善に向けて
○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、児童の活動を主体とした授業展開を柱として、学習の喜びと成就感を味わわせ、進んで学ぶ態度の育成に努める。	・ 児童の「わからない」「できない」を的確に捉え、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る。	1班	藤井吉川 永田 辻	① プレテストや既習事項の確認を通して、児童の実態を把握する。 ② 児童の発言を予想し、それらに対する適切な指導・助言を準備する。 ③ 漢字・計算コンクールを実施して、基礎学力の確認をする。計算については夏・冬休みに理解不十分な児童を対象に算数教室を実施する。	① 各単元に入る前に、既習事項の確認をしたか。 ② 児童の発言や解答を予想し、必要な指導・助言を準備したか。 ③ 漢字・計算コンクールを実施して、基礎学力の確認ができたか。	児童用アンケート 1③3. 5 2③3. 1聞 1③3. 3 1③3. 2 職員アンケート 1①3. 5 1②2. 9 1③3. 2 1③3. 2	既習事項の確認は、よく実施され児童の実態を把握できている。授業の流れを考える上で、児童の発言や解答を予想し、適切な指導・助言を準備することはあまりできていない。理解の状況をしっかりと把握し、補習や次時の授業で補う計画は概ねできている。 漢字・計算コンクールを通して、基礎学力が身についたかの確認は毎学期行った。基礎学力の不足している児童には、補習や追試を行うことで 学力の向上につなげることができている。	基礎的・基本的な知識・技能について「わかった」「できた」という児童を増やすために、漢字・計算コンクールの在り方を見直してもよいのではないかと考えられる。金賞等の基準を学年裁量のままでいくのか、基礎学力の確認なので多くの児童が賞を取れるような問題にしていくのか、検討が必要だと感じる。
	・ 4段階の授業スタイル（見通す・追求する・深める・振り返る）を基本に、児童の主体的な活動を大切にした授業展開の工夫を図る。 ・ 習得した知識・技能を活用し、学び合い活動、言語活動の充実を図りながら、思考力・判断力・表現力等を育成する。	2班	笠巻酒井 鈴木純 鈴木絵	① 本時の目標を、より分かりやすく明確に提示する。 ② 4段階の授業スタイルを基本に、児童が主体的に活動できる授業展開を工夫する。 ③ 「伝え合い・学び合い」を目指して、グループ学習やペア学習を充実させる。	① 本時の目標を、より分かりやすく明確に提示することができたか。 ② 4段階の授業スタイルを基本に、児童が主体的に活動できる授業展開を工夫することができたか。 ③ 児童が進んで考えを伝え合い、学び合うことができるようになってきたか。	児童用アンケート 2①3. 3 2③3. 1聞 2③3. 4話 職員アンケート 2①3. 2 2②2. 7 2③2. 9	職員アンケートによると、2-②と2-③の評価が低い。各クラスで、児童が主体的に学び合い活動ができるような授業の工夫をしていると思われるが、評価する際に、個人個人で評価基準が異なり、何かがどこまでできていればよいのか判断しにくいことが原因ではないかと考えられる。 児童アンケートによると、80%以上の児童が聞くことも話すことも「できる」と回答している。しかし、聞くことより話すことの方が評価が低く、苦手だと感じている児童が多い。また、教員のアンケートからは、「学び合う」ための「聞くこと・話すこと」のあり方に対する課題意識が感じられる。	「話す」「聞く」に関して、学年ごと（または、低・中・高学年ごと）に、具体的な到達目標を設定し、系統立てて取り組むことと、また、それに関して学校全体で共通理解を図ることが必要だと考える。 話すことに対する自信を付けさせるために、児童の発達段階に応じて、学習タイムにスピーチや簡単なディベートを取り入れるなどするとよいのではないかと考える。
○ 自己有用感を醸成する活動を通して、お互いを思いやる気持ちや態度を育成するとともに、児童の自主性・主体性を養うための活動の充実を図る。	・ 道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。 ・ 教育相談活動を充実させ、いじめの根絶に努める。	3班	櫻井伏見 水野中川	① 道徳の授業研修や教師間の授業公開により、教師の指導力を高める。 ② 道徳の授業を体験的な活動（行事や各教科）と関連づけて計画・実施する。 ③ わたしたちの道徳やワークシート等を活用し、子どもたちが今までの生活を振り返ったり、今後の生活に生かしたりしていこうとする心を育てる。 ④ 道徳の授業研修のまとめとして、三学期に授業公開をする。 ⑤ 道徳資料の整備や年間指導計画（行事や各教科との関連から）の見直しなどを 必要に応じて行う。 ⑥ いじめに関するアンケートや教育相談、チャンス面談を実施し、心の健康の増進を図り、安心して生活できる学校づくりに努める。	① 道徳の授業を計画的に行うことができたか。また、発問や展開の工夫をすることができたか。 ② 道徳の授業で考えたことを、児童が日常生活に生かそうとすることができたか。 ③ 児童が、道徳の時間に、体験的な活動と道徳的価値とを関連させて考えることができたか。 ④ 児童が安心して学校生活を送ることができたか。	児童用アンケート 3③3. 3 3③3. 2 3③3. 4 保護者用アンケート 3⑥3. 5 3⑥3. 2 3⑥3. 2 職員用アンケート 3①2. 7 3②2. 8 3③2. 5 3⑤2. 4 3⑥3. 4	道徳の授業研修や教師間の授業公開などを行うことがあまりできなかった。教員アンケートでは、必要に応じて年間計画の整理や見直しを行うことが十分ではないという結果であった。実際には、児童の実態に合わせて年間計画を見直ししながら授業を計画している。道徳の授業で児童の道徳実践意欲を高めるため、資料や授業展開の工夫などを行っている。児童アンケートでは、80%以上の児童が「道徳の授業を通して自分の生活を振り返ることができた」と回答している。しかし、「私たちの道徳」を効果的に活用することがあまりできていない。 道徳の授業を一年を通して計画的に実施するということが不十分なので、行事や教科との関連を考慮して、計画的に行えるようにする必要があると考える。 教育相談等で、児童理解に努めることがおおむねできた。児童・保護者とも「学校へ行くことが楽しい」等、90%近くが回答している。安心して生活できる学校づくりに努めることができた。	保護者への道徳の授業公開は、1年に1回今後も継続して行っていくとよいと考える。 外部講師による道徳の現職研修も、年1回は必ず行いたい。職員間での授業公開や授業研修をどのように行うのか、年間計画を考えたい。 道徳の年間計画には、「私たちの道徳」との関連づけがされているので、その活用についての学年間での話し合いの場を意識して設ける必要があるのではないかと考える。「私たちの道徳」を活用することで、道徳実践意欲を高めることへつなげたい。 今後も、児童一人一人の理解に努め、きめ細やかな指導に心がけたい。
	・ 集会やあいさつ運動など、児童会を中心とした児童主体の活動への支援・充実を図る。 ・ 行事や諸活動における目標を明確にし、事前事後の指導を重視した展開を工夫する。	4班	山下井上 後藤小塚	① 代表委員会に、学校みまもり隊とリサイクル隊を設け、主体的な活動をする ための手立てを話し合わせ、具体化させるとともに、意欲を高めるように工夫する。 ② 企画運営委員会で「お楽しみ集会」の内容について話し合い、必要に応じて代表委員会のメンバーに協力を呼びかけ、集会を進める。 ※1年生を迎える会・・・全校で1年生の入学を祝う。 ※お楽しみ集会・・・縦割り班の班長を中心にウォークラリーを行う。 ※運動会の応援合戦・・・6年生が中心になって、運動会を盛り上げる。 ※クリスマス集会・・・かざり付けやゲームなどの進行をする。 ③ 運動会に、一人一人の児童が進んで取り組めるようにするために、自分のめあてや取り組みを意識できる自己評価カードを作成する。 ④ 自分から進んであいさつができるように、「あいさつやってみ隊」を募集したり、あいさつウィークを設け、あいさつがんばりカードをつけたりする。	① 企画運営委員会、代表委員会のメンバーが活躍できたか。 ② 児童が、進んでお楽しみ集会に取り組めたか。 ③ 児童が、運動会、志水祭などの行事に進んで取り組めたか。 ④ あいさつ運動やリサイクル活動に参加できたか。	児童用アンケート 4②3. 6 4②3. 6 4④3. 3 4①2. 7 保護者用アンケート 4④3. 1 4②③3. 6 職員用アンケート 4①3. 7 4①④2. 8 4④3. 0	学校見守り隊は、あいさつ運動が活発になるように、新しい取り組みを行った。リサイクル隊は、たくさんの人に協力してもらおうと呼びかけの回数を増やすなどの工夫をした。企画運営委員会、代表委員会のメンバーとともに、活動に意欲的に取り組み、活躍することができた。 お楽しみ集会の計画では、積極的に意見を出し合い、代表委員会のメンバー全員で集会を盛り上げることができた。クリスマス集会では、全校から飾りを募集するなど、児童が主体的に取り組むことができた。 運動会では「ふりかえりカード」を活用し、自己評価を行った。全体で3. 8と高い評価であった。どの児童も意欲的に行事に取り組むことができた。 「あいさつやってみ隊」を今年度も募集し、あいさつ運動を盛り上げることができた。一方で、あいさつ運動でなくても、進んであいさつできるように指導していく必要がある。リサイクル活動に参加できるかどうかは、家庭の事情にもよるので、難しい部分があるが、多くの児童が活動に参加できるように、さらに工夫をしていきたい。	今後も一つ一つの行事の事前事後の指導を計画的に行っていきたい。 児童会を中心に、縦割り班活動のよさをさらに生かした活動に取り組んでいきたい。 登下校での地域の方へのあいさつも、積極的にいけるように指導していきたい。

【評価基準】4…十分達成できた、3…ほぼ達成できた、2…あまり達成できなかった、1…全く達成できなかった

経営目標	重点努力目標	班	担当	具体的な取組	評価項目	項目別評価	達成状況	改善に向けて
○ 家庭、地域との幅広い連携・協力体制を築くとともに、開かれた信頼される学校づくりに努める。	・ 地域や外部ボランティア、ゲストティーチャー導入を計画的かつ積極的に進め、地域との交流を含めた、授業の質の向上を図る。	5班	村川 森口 森下	① ホームページや学年便り、PTA委員会等を通して、家庭・地域から人材を募集する。 ② 総合学習や教科等で地域の人材や施設、出前講座などを活用する計画を立て、実施する。 ③ 子どもたちに活動を振り返らせたり、自己評価をさせたりして出た意見を、今後の授業作りに生かす。	① ホームページや学年便り等を通して、必要に応じその都度、募集案内を出すことができたか。 ② 地域や外部ボランティア、ゲストティーチャーなどの活用計画を立て、実施することができたか。 ③ 子どもたちに活動を振り返らせたり、自己評価をさせたりして出た意見を、今後の授業作りに生かすことができたか。	児童用アンケート 5 3. 7 保護者用アンケート 5①3. 3 5 3. 2 5 3. 5 5 3. 0 職員用アンケート 5①3. 0 5②2. 9 5③2. 6	図書ボランティアを募集し、本のバーコード化や図書室の整備などを行っていたことができ。しかし、ホームページで募集することは無かった。 たぐさんの出前講座を活用することができた。しかし、例年通りに行くことが多かったため、今後は教育課程での位置づけを明確にして精選することが必要ではないか。 活動の振り返りは、作文やお礼の手紙等を通して行った。児童が外部ティーチャーから学ぶことは多い。しかし、今後の授業作りに生かすところまでは至らなかった。 ＜本年度の出前授業・地域の学習等の実績＞ 1年（人形劇・昔の遊び・フラダンス・絵の具指導・食育）2年（町たんけん「味食研・サークルK・ひまわり・ナフコ・秀清堂・富士保育園・天使幼稚園・郵便局」・食育）3年（リコーダー指導・社教センター・味食研・西友・北部市場・北名古屋屋歴史民俗資料館）4年（東部消防署・バッカー車見学・下水道・豊山太鼓・版画指導・CAP講習会）5年（魚料理・いろはに邦楽・ものづくり<大工・左官>・豆腐づくり）6年（和菓子作り・薬物乱用防止教室・租税教室・まちづくり）3～6年（情報モラル教室）4・5・6年（福祉実践教室）	地域の方との交流や施設の見学は、体験を基にした豊かな学びにつながっているが、年度ごとに見直しをすべきところは見直していく。
	・ 教育活動の客観的な評価となるような有効な学校評価を実施し、学校改善に努める。（教育目標の提示→計画→実施→評価→新たな目標の設定）	6班	教頭	① 学校評価に関する具体的な取組等について、意見交換をする場を設ける。 ② 評価項目とアンケート等の評価指標について十分検討を行う。 ③ 自己評価書をPTA委員、学校評議員及び学校関係者評価委員に公表し、その評価結果をまとめて、次年度に向けた改善方策を全教職員で検討する機会を設ける。	① 具体的な取組について、全職員が共通理解することができたか。 ② PDCAサイクルで、学校や授業改善に取り組むことができたか。 ③ 学校関係者評価委員会での評価結果を踏まえ、次年度に向けて検討することができたか。	保護者用アンケート 6 3. 3 職員用アンケート 6①2. 9 6②2. 9	職員アンケートでは、学校重点努力目標を意識して教育活動を行っているという職員が73%という結果になった。しかし、学級経営や学年経営の目標には、重点努力目標が反映されている。班ごとに提案された具体的な取組との関連が意識されていないことが原因であると考えられる。 保護者からは、「学校が目指していることに、共感できる」の項目で、93%の方が「よくあてはまる」「どちらかというとはまる」と回答していただいた。昨年度の84%に比べてアップした。今後も、家庭や地域と連携を図るため、開かれた学校づくりに努めたい。	今後も、学校重点努力目標を学年・学級経営で具現化し、学期ごとにPDCAサイクルで取り組んでいく。 学校評価の班別での話し合いの時間をどのように確保するのかを検討していく。
○ 共通理解を図りながら教職員相互の信頼を深め、何事にも協働体制で臨む。	・ 仕事分担を適切かつ明確にし、お互いに協力し合える体制づくりを行う。 ・ 職員それぞれの経験等が有機的に機能し、誰もが自由に意見を出せるような民主的な職場づくりに努める。	7班	校長 遠藤	「学校」が有する仕事を明確にし、適正に分担する。 ① 校務分掌の見直しをする。 ② 負担が偏らないように、各種委員会の構成メンバーを見直す。 ③ 各仕事に適材適所の人員配置をする。（偏りなく、仕事への知識、理解度等）	① 仕事が特定の人に集中していないか。 ② 仕事が重複せずに系統づけられているか。 ③ 仕事の相関関係がうまくでき、お互いに協力し合える体制になっているか。 ④ 誰がどの仕事の担当か、一目で分かるようになっているか。	職員用アンケート 7②2. 5 7②3. 1 7③3. 2 7③3. 0	職員アンケートでは、平均して昨年度より0.3%上がった。校務分掌の在り方が、多少改善されたと考えられる。様々な担当を、お互いに協力し合って取り組むことができた。ただし、特定の人に仕事が集中している状況があまり改善されていない。	校務分掌や学校行事の担当者等、4月当初によく吟味する。
○ 現職教育の充実を図り、互いに学び合うことで、教職員としての資質の向上をめざす。	・ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業力向上に向けた授業研究に取り組む。 ・ 本校の児童の実態、職員の実情に応じた研修の場を積極的に設定し、教職員としての力量向上に努める。	8班	渡邊 伊藤	① 授業研究年間計画に基づき、低・中・高学年部会で年間各2回の授業研究を行い、研究協議会をもつ。 ② 現職教育のテーマや児童、職員の実情に沿って、現職研修の内容を考え実施する。	① 伝え合い、学び合う活動を充実させるための授業展開に心がけ、授業力向上に向けた授業研究に取り組んでいるか。 ② 教職員の力量向上のための現職研修は充実しているか。	保護者用アンケート 8①3. 3 職員用アンケート 8①2. 8 8②3. 1	計画通り、授業研究年間計画に基づき、年6回の授業研究を行った。また、初任研の算数や5年研の算数・道徳の授業を職員に公開し、学ぶ機会を設けた。現職教育のまとめの会では、「伝え合い、学び合う活動のために」それぞれの考えを交流し、共通理解を図ることができた部分もあった。しかし、教員用アンケートでは、①に関して「あてはまらない」という意見があったことは課題である。 指導案の検討や研究協議会の内容、外部講師による講義を通して、少しずつではあるが、職員の力量向上に努めることができた。	低中高の学年部会や全体協議会の進め方を工夫し、成果と課題がより明確になるよう取り組んでいきたい。 外部講師による現職研修の充実を一層図りたい。また、職員が先進校へ視察をし、職場に還元できるような体制づくりをしたい。

学校関係者評価(その他の意見・改善策等)

- ・ 「授業が分かりやすいか」について、平均の数値はよくても「ぜんぜん」と回答した学級に一人二人の児童に目を向けてくださっていることに安心できた。同じように、学校が楽しい、が一番よいことだと思うが、「ぜんぜん」と回答している5%の児童にも配慮してほしい。
- ・ 漢字計算コンクールの見直しについて。問題数や問題の出し方も考えてほしい。
- ・ 先生方が子ども達と向き合う時間を確保するためにも、心の余裕が必要である。そのためには、業務の精選をしていそがしい状況を改善してほしい。部活動については、外部指導者の導入や最終下校時刻等、考えてはどうか。
- ・ 道徳の授業に力を入れてやっていたということが分かった。道徳の授業の保護者の参観が増えるような工夫もしていただけるとありがたい。また、道徳の新たな授業スタイルを作ってほしい。自分で考えるようなグループワークのような形も取り入れてはどうか。
- ・ 自己有用感を育む縦割り班は、志水小のよいところである。
- ・ 「よいこと見つけ」のような活動は大変良いと思う。作品鑑賞での鑑賞シートも続けてほしい。また、「よいこと」に限らず、当たり前前のことができたときも認めてもらえるようなことも大切であると思う。
- ・ ペットボトルキャップやアルミ缶回収については、親の意識も低かった。回収箱の工夫など、考えてはどうか。
- ・ いろいろな活動を見直すことは大変重要である。大切なことは何かを見極め、新しいことを取り入れるならば、何かをやめることも必要。チャレンジ精神をもって、前向きな入れ替えを検討してほしい。変化をすることが、活性化につながるのだから、変化をおそれないでほしい。
- ・ 志水祭のあり方については、児童の思いも聞いてみてはどうか。土日にこだわらなくてもよいと思う。